

第1章 決算の状況



(余白頁)

第1章 決算の状況

1 各会計の決算状況

決算は、市の運営に必要な経費について、市に入ったお金（歳入）と、使ったお金（歳出）を明らかにするものです。人吉市には、下表のような会計区分があり、これらはその目的ごとに分けられています。このなかでも一番大きな会計は「普通会計」で、市の本体を担う会計です。市税や地方交付税を主な財源として、市の運営や福祉・教育の充実、農林水産業の活性化、道路や河川の整備などの経費に用いられます。人吉市の場合は、「一般会計」・「人吉球磨地域交通体系整備特別会計」の2会計を「普通会計」としています。この章では、平成30年度普通会計決算状況についてみていきます。

※この報告書は、現行官庁会計の仕組みである「現金主義」により作成しています。よって、普通会計における1年間のお金の流れ（フロー）や使途を確認されたい方は当報告書を、普通会計以外や人吉市が関係するすべての財政活動主体におけるこれまでの財政活動の結果（ストック）や、「発生主義」的なコストの状況などを確認されたい方は、別掲載の「人吉市の財務書類」をご覧ください。

平成30年度 各会計の決算額

単位：円

会計区分	会計名		歳入	歳出	差引額
普通会計	一般会計		17,335,288,206	16,828,663,945	506,624,261
	人吉球磨地域交通体系整備特別会計		18,472	18,472	0
特別会計	国民健康保険事業特別会計		4,348,762,367	4,097,790,661	250,971,706
	藍田財産区特別会計		35,264,303	24,717,266	10,547,037
	工業用地造成事業特別会計		64,115,187	52,102,123	12,013,064
	介護保険特別会計		4,483,433,341	4,168,638,077	314,795,264
	介護サービス事業特別会計		40,180,558	36,682,596	3,497,962
	後期高齢者医療特別会計		504,222,806	492,717,154	11,505,652
公営企業 会計	水道事業 特別会計	収益的収入及び支出	609,434,627	491,491,283	117,943,344
		資本的収入及び支出	40,721,732	272,694,650	-231,972,918
	下水道事業 特別会計	収益的収入及び支出	1,114,001,465	1,036,613,646	77,387,819
		資本的収入及び支出	342,935,854	780,201,122	-437,265,268

※水道事業及び下水道事業会計における資本的収入額が資本的支出額に不足する額は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填しています。

2 普通会計の決算分析

(単位：千円・%)

区 分	平成 30 年度	平成 29 年度	対前年度増減	
			増減額	伸率
(1)歳入総額	17,335,306	16,887,006	448,300	2.7%
(2)歳出総額	16,828,682	16,540,339	288,343	1.7%
(3)歳入歳出差引き(1)-(2)	506,624	346,667	159,957	46.1%
(4)翌年度繰越財源	62,960	40,026	22,934	57.3%
(5)実質収支	443,664	306,641	137,023	44.7%

※普通会計の歳入歳出決算額は「地方財政状況調査表」(決算統計)による合計額(純計処理後の額)のため、「1 各会計の決算状況」に示した普通会計の合計額とは異なります。

平成30年度の普通会計決算収支は、歳入総額・歳出総額ともに前年度に比べ増加しています。これは、歳入においてはふるさと納税への積極的な取り組みによる寄付金の増及びふるさと納税増に伴う事務費への基金繰入による繰入金の増や人吉球磨スマートインターチェンジ整備事業、大規模修繕・更新事業【曙橋補修事業】による国庫支出金の増などが主な増加の要因となり、歳出においては扶助費や歳入と同様に人吉球磨スマートインターチェンジ整備事業や大規模修繕・更新事業の増や新市庁舎建設事業の増が主な増加の要因となっています。

1) 歳入の決算状況

平成30年度の歳入総額は約173億4千万円で昨年度より約4億5千万円の増となりました。増の主なものとしては、ふるさと納税への積極的な取り組みによる寄付金の約9千万円の増及びそのふるさと納税増に伴う事務費への基金繰入による繰入金の約2億6千万円の増や人吉球磨スマートインターチェンジ整備事業や大規模修繕・更新事業(曙橋補修事業)の事業費増に伴い国庫支出金が約2億3千万円の増となったものがあげられます。

国庫支出金や地方交付税などは国等から交付されるお金(「依存財源」と言います。)であり、地方税は市独自の財源(「自主財源」と言います。)であることから、地方税収の低下は財政自主体力の低下を意味します。平成30年度の地方税は約1千万円の減となっており、減額の要因としては3年に1度の評価替え実施年度により、固定資産税(土地・家屋)が大幅な減があげられます。歳入全体における地方税の割合は0.6%の減となっています。

各歳入の状況は次のとおりです。

地方税 36億8,558万9千円(前年度比約1,470万円の減)

市民税が約3,294万円、軽自動車税が約475万円の増となりましたが、固定資産税が3年に1度の評価替え実施年度により大幅な減となり、約4,167万円の減となっています。

地方税の歳入全体に占める構成比は0.6%減となっています。

地方交付税 47億1,186万4千円（前年度比約1億317万円の減）

普通交付税は、基準財政収入額と基準財政需要額の差額を算定の基礎としますが、平成30年度は一部事務組合のごみ処理施設建設に対する起債償還が終了したこと等に伴い交付額が大幅に減少しました。特別交付税は約2,615万円の増となっており、地方交付税全体では前年度比2.1%の減となっています。

（※平成29年度地財計画では地方交付税は前年度比2.0%の減）

地方消費税交付金 6億8,152万7千円（前年度比約2,186万円の増）

社会保障の安定財源確保として平成26年4月から消費税が3%引き上げられたことで地方消費税の配分が0.7%増えています。若干の景気回復の兆しが見られ、昨年度より約2,186万円の増となっています。

国庫支出金 31億1,840万2千円（前年度比約2億2,577万円の増）

保育所等整備交付金事業の増や人吉球磨スマートインターチェンジ整備事業及び大規模修繕・更新事業（曙橋補修事業）の増が主な要因です。

（増減の主なもの）

大規模修繕・更新事業補助金・・・・・・・・・・1億1,429万円の増
社会資本整備総合交付金（繰越）道路橋梁・・・・・・・・1億84万円の増
社会資本整備総合交付金 住宅・・・・・・・・・・4,147万円の増
保育所等整備交付金・・・・・・・・・・7,382万円の減

県支出金 12億2,253万1千円（前年度比約6,954万円の減）

産地パワーアップ事業推進費補助金や緑の産業再生プロジェクト促進事業の減が主な要因です。

（減となった主なもの）

産地パワーアップ事業推進費補助金・・・・・・・・5,668万円の減
緑の産業再生プロジェクト促進事業費補助金・・・・2,600万円の減

地方債 17億6,666万8千円（前年度比約3億4,594万円の増）

新市庁舎建設事業や人吉球磨スマートインターチェンジ整備事業に係る地方債の増が主な要因です。

（増となった主なもの）

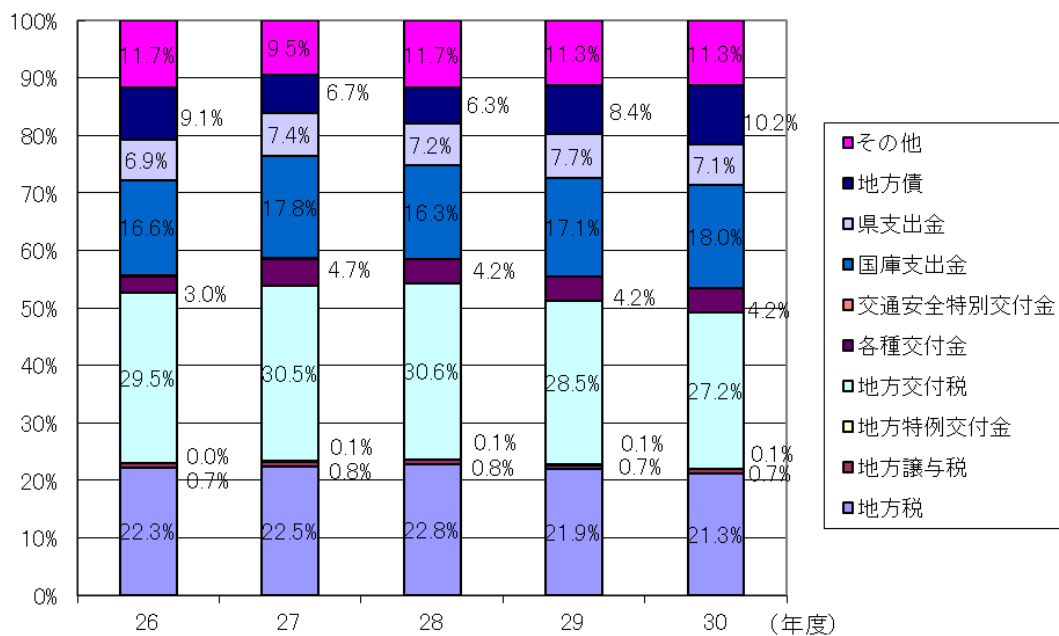
市庁舎建設事業債（遞次繰越）・・・・・・・・1億4,980万円の増
社会資本整備総合交付金事業債【道路橋梁】（遞次繰越）7,190万円の増
大規模修繕・更新事業債・・・・・・・・7,740万円の増

《歳入の状況》

(単位:千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		比較	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率
地方税 ①	3,685,589	21.3%	3,700,292	21.9%	▲ 14,703	▲ 0.4 %
うち住民税(個人分)	1,273,858	7.3%	1,246,900	7.4%	26,958	2.2 %
うち住民税(法人分)	308,730	1.8%	302,746	1.8%	5,984	2.0 %
うち固定資産税	1,523,826	8.8%	1,566,212	9.3%	▲ 42,386	▲ 2.7 %
地方譲与税 ②	125,949	0.7%	124,762	0.7%	1,187	1.0 %
地方特例交付金 ③	8,281	0.0%	7,683	0.0%	598	7.8 %
うち減税補てん特例交付金	8,281	0.0%	7,683	0.0%	598	7.8 %
地方交付税 ④	4,711,864	27.2%	4,815,038	28.5%	▲ 103,174	▲ 2.1 %
うち普通交付税	4,134,689	23.9%	4,264,012	25.3%	▲ 129,323	▲ 3.0 %
うち特別交付税	577,175	3.3%	551,026	3.3%	26,149	4.7 %
地方消費税交付金等各種交付金 ⑤	735,895	4.2%	715,994	4.2%	19,901	2.8 %
(一般財源)①+②+③+④+⑤	9,267,578	53.5%	9,363,769	55.4%	▲ 96,191	▲ 1.0 %
【参考】①+②+③+④+⑤+臨時財政対策債	9,719,846	56.1%	9,828,498	58.2%	▲ 108,652	▲ 1.1 %
交通安全特別交付金	3,446	0.0%	3,791	0.0%	▲ 345	▲ 9.1 %
国庫支出金	3,118,402	18.0%	2,892,637	17.1%	225,765	7.8 %
県支出金	1,222,531	7.1%	1,292,073	7.7%	▲ 69,542	▲ 5.4 %
地方債	1,766,668	10.2%	1,420,729	8.4%	345,939	24.3 %
うち臨時財政対策債	452,268	2.6%	464,729	2.8%	▲ 12,461	▲ 2.7 %
うち退職手当債	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0 %
その他	1,956,681	11.3%	1,914,007	11.3%	42,674	2.2 %
うち繰入金	646,950	3.7%	388,558	2.3%	258,392	66.5 %
歳入合計	17,335,306	100.0%	16,887,006	100.0%	448,300	2.7 %

《歳入決算額構成比の推移》



2) 歳出の決算状況

平成30年度の歳出総額は約168億3千万円で、昨年度より約2億9千万円の増となりました。内容については、①「行政分野ごとに見る歳出の状況（目的別経費）」と、②「経費の性質から見る歳出の状況（性質別経費）」の2つの視点から説明します。

① 行政分野ごとに見る歳出の状況（目的別経費）

行政分野ごとに見ていくと、一番多いものが民生費で、構成比で全体の39.7%を占めており、次いで総務費14.7%、土木費13.1%と続いています。前年度との比較では、新市庁舎建設関連経費の増により総務費が増、人吉・球磨スマートインターチェンジ整備促進事業、大規模修繕・更新事業（曙橋補修事業）の増により土木費が大きく伸びています。

※以下は昨年度と比較して増減の大きい分野のみを抜粋しています。

総務費 24億8,213万円（前年度比 約1億5,975万円の増）

（増の主な理由）

新市庁舎建設関連経費・・・・・・・・・・約8,021万円の増
人吉応援団基金積立金（ふるさと納税額の増）・・・・約8,784万円の増
コンビニ交付サービス導入に伴う経費・・・・・・・・約1,875万円の増

民生費 66億8,031万6千円（前年度比 約1,292万円の減）

（減の主な理由）

年金生活者等支援臨時福祉給付（繰越）・・・・・・約1億2,470万円の減
保育所等整備交付金事業・・・・・・・・・・・・約1億1,072万円の増

衛生費 11億5,003万円（前年度比 約2億4,158万円の減）

（減の主な理由）

人吉球磨広域行政組合負担金・・・・・・・・・・約2億6,201万円の減

労働費 1,585万円（前年度比 増減なし）

農林水産業費 3億8,424万3千円（前年度比 約1億2,762万円の減）

（減の主な理由）

産地パワーアップ事業補助金・・・・・・・・・・約6,008万円の減
緑の産業再生プロジェクト促進事業補助金・・・・約2,955万円の減
素材生産販売委託事業・・・・・・・・・・・・約1,635万円の減

商工費 4億8,799万6千円（前年度比 約1億1,593万円の増）

（増の主な理由）

第三セクターに要する経費・・・・・・・・・・6,000万円の増
起業創業・中小企業支援事業・・・・・・・・・・約1,992万円の増
まち・ひと・しごと総合交流館管理費・・・・・・・・・・約3,543万円の増

土木費 22億426万6千円（前年度比 約4億5,054万円の増）

（増の主な理由）

人吉・球磨スマートインターチェンジ整備促進事業・・・約1億2,948万円の増
大規模修繕・更新事業（曙橋補修事業）・・・・・・・・・・約2億9,547万円の増

消防費 5億7,615万4千円（前年度比 約1,389万円の増）

（増の主な理由）

人吉下球磨消防組合負担金・・・・・・・・・・約1,244万円の増

教育費 11億3,942万円（前年度比 約76万円の増）

（増の主な要因）

学校施設環境改善交付金事業（小中学校）・・・・・・・・・・約3,123万円の増
中学校施設設備改修工事・・・・・・・・・・約5,242万円の減

※ 行政分野ごとの歳出状況の詳細は、別掲載の「平成30年度決算に係る主要な施策の成果報告」をご覧ください。

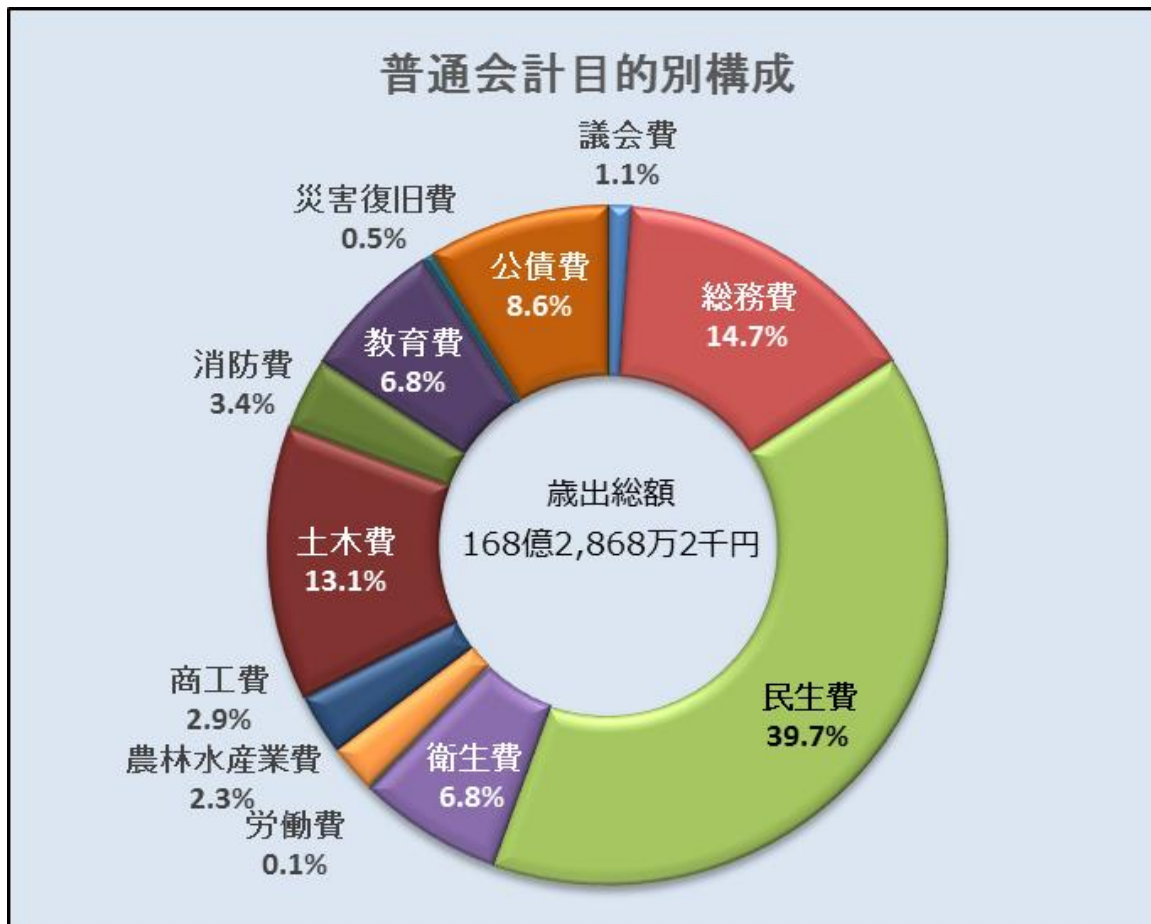
各目的別の用語説明

○議会費 議会運営に要する経費	○総務費 市庁舎運営費など総務的な経費
○民生費 児童福祉など社会保障関係経費	○衛生費 保健衛生や環境対策などの経費
○労働費 雇用対策等に要する経費	○農林水産業費 農林水産業振興に要する経費
○商工費 商工業・観光業の振興経費	○土木費 道路、河川、公園などの整備費
○消防費 消防に要する経費	○教育費 小中学校や公民館運営費など
○災害復旧費 災害被害の復旧に要する経費	○公債費 地方債等の元利返済金
○諸支出金 普通財産取得などに要する経費	
○予備費 予算外の支出等にあてるため用途を特定しないで計上する経費	

《目的別歳出決算の状況》

(単位:千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較		前年度 増減率
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率	
議会費	179,088	1.1%	184,810	1.1%	▲ 5,722	▲ 3.1 %	▲ 0.3 %
総務費	2,482,130	14.7%	2,322,380	14.0%	159,750	6.9 %	31.8 %
民生費	6,680,316	39.7%	6,693,239	40.5%	▲ 12,923	▲ 0.2 %	0.5 %
衛生費	1,150,032	6.8%	1,391,610	8.4%	▲ 241,578	▲ 17.4 %	▲ 10.4 %
労働費	15,850	0.1%	15,850	0.1%	0	0.0 %	▲ 6.6 %
農林水産業費	384,243	2.3%	511,867	3.1%	▲ 127,624	▲ 24.9 %	6.2 %
商工費	487,996	3.0%	372,071	2.3%	115,925	31.2 %	19.1 %
土木費	2,204,262	13.1%	1,753,719	10.6%	450,543	25.7 %	39.9 %
消防費	576,154	3.4%	562,265	3.4%	13,889	2.5 %	2.9 %
教育費	1,139,420	6.8%	1,138,663	6.9%	757	0.1 %	▲ 5.0 %
災害復旧費	83,488	0.5%	117,383	0.7%	▲ 33,895	▲ 28.9 %	▲ 25.8 %
公債費	1,445,703	8.7%	1,476,482	9.0%	▲ 30,779	▲ 2.1 %	▲ 1.3 %
諸支出金	0	0.0%	0	0.0%	0	- %	- %
歳出合計	16,828,682	100.2%	16,540,339	100.1%	288,343	1.7 %	5.9 %



② 経費の性質から見る歳出の状況（性質別経費）

人件費、借入金の返済額、建設事業に要した経費などその支出を性質別に見た歳出の状況です。性質別経費のうち、支出が義務付けられ任意に削減しにくい固定的な経費を「義務的経費」、道路や学校の建設事業経費、災害復旧に要した経費などのように、支出の効果が資本形成に向けられ、施設等が資産として将来に残るものに支出される経費のことを「投資的経費」と言います。

平成30年度の場合、扶助費の占める割合が大きく、次いで投資的経費、人件費の順となっており、義務的経費の占める割合が約84億円、全体の約50%以上を占めています。

義務的経費 84億2,945万6千円（前年度比 約1億2,991万円の減）

人件費の減が義務的経費の減の要因となっています。

◆人件費 25億4,193万1千円（前年度比 約7,166万円の減）

（減の主な理由）

退職金・・・・・・・・・・・・・・・・・・約8,435万円の減

◆扶助費 44億4,182万2千円（前年度比 約2,747万円の減）

（減の主な理由）

年金生活者等支援臨時福祉給付（繰越）・・・約1億2,467万円の減

保育所等運営費負担金・・・・・・・・・・8,732万円の増

◆公債費 14億4,570万3千円（前年度比 約3,078万円の減）

（減の主な理由）

退職手当債・・・・・・・・・・・・・・・・・・約3,510万円の減

投資的経費 26億322万5千円（前年度比 約5億223万円の増）

◆普通建設事業費 25億1,973万7千円（前年度比 5億3,612万円の増）

うち単独事業 10億737万4千円（前年度比 5,903万円の増）

（増の主な理由）

大規模修繕・更新事業（曙橋補修事業）・・・約2億9,547万円の増

その他経費 57億9600万円（前年度比 約8,397万円の減）

◆物件費 18億8,841万6千円（前年度比 約1億9,218万円の増）

（増の主な理由）

ふるさと納税業務支援サービス業務委託料・・・約5,379万円の増

コンビニ交付システム導入業務委託料・・・・・・・・約1,426万円の増

人吉しごとサポートセンター業務委託料・・・・・・・・約2,087万円の増

◆補助費等 20億8,538万2千円（前年度比 約2億9,916万円の減）

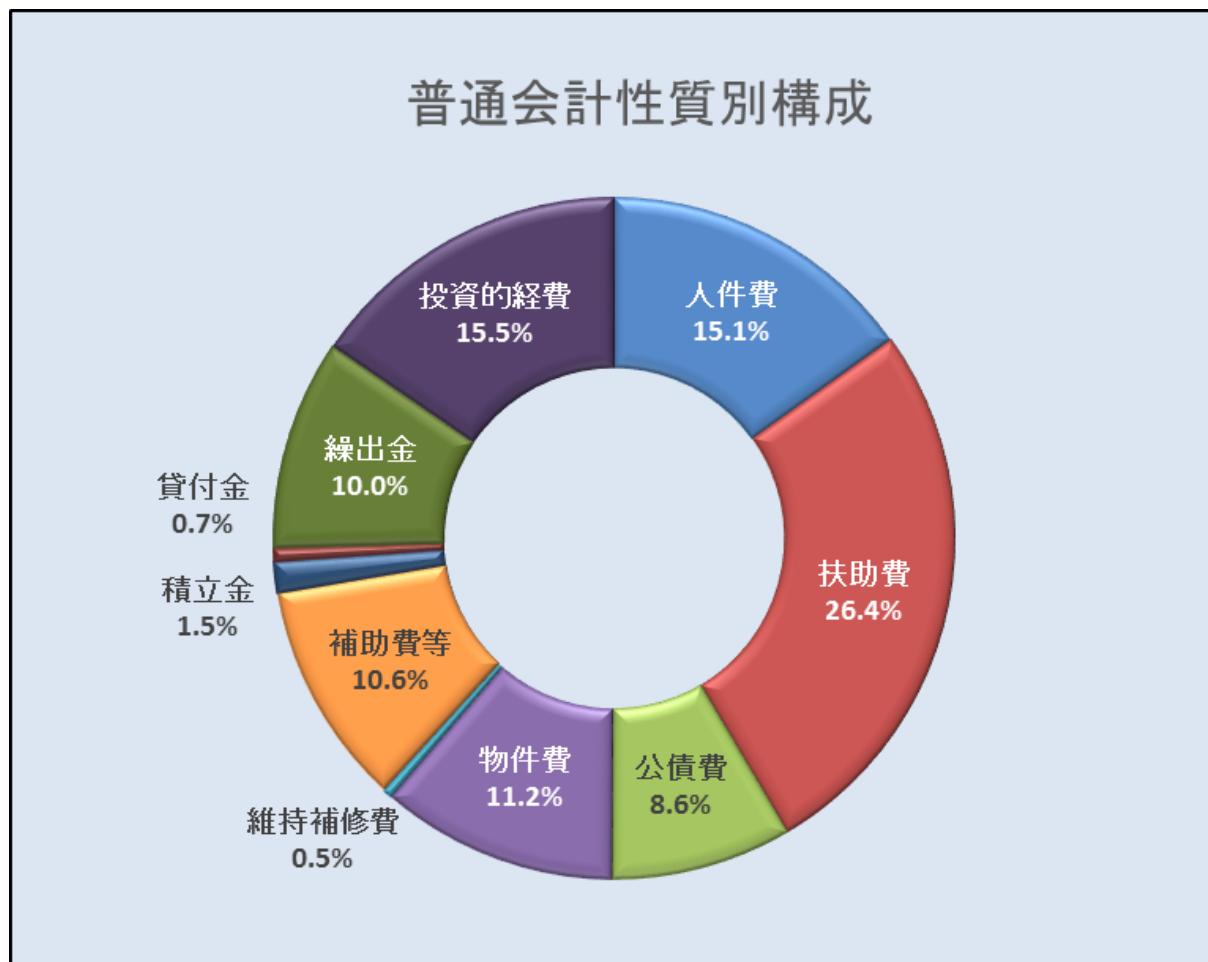
（減の主な理由）

人吉球磨広域行政組合負担金・・・・・・・・・・約2億5,985万円の減

《性質別歳出決算の状況》

(単位:千円)

区 分	平成30年度		平成29年度		比 較		前年度 増減率	
	決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減率		
義務的経費	8,429,456	50.1%	8,559,366	51.7%	▲ 129,910	▲ 1.5 %	▲ 0.4 %	
内 訳	人件費	2,541,931	15.1%	2,613,592	15.8%	▲ 71,661	▲ 2.7 %	▲ 0.9 %
	扶助費	4,441,822	26.4%	4,469,292	27.0%	▲ 27,470	▲ 0.6 %	0.2 %
	公債費	1,445,703	8.6%	1,476,482	8.9%	▲ 30,779	▲ 2.1 %	▲ 1.3 %
投資的経費	2,603,225	15.5%	2,100,999	12.7%	502,226	23.9 %	70.0 %	
内 訳	普通建設事業費	2,519,737	15.0%	1,983,616	12.0%	536,121	27.0 %	84.0 %
	うち補助事業費	1,497,515	8.9%	983,420	5.9%	514,095	52.3 %	92.1 %
	うち単独事業費	1,007,374	6.0%	948,348	5.7%	59,026	6.2 %	84.5 %
	災害復旧事業費	83,488	0.5%	117,383	0.7%	▲ 33,895	▲ 28.9 %	▲ 25.8 %
	うち補助事業費	2,991	0.0%	26,331	0.2%	▲ 23,340	▲ 88.6 %	1.3 %
	うち単独事業費	80,497	0.5%	91,052	0.6%	▲ 10,555	▲ 11.6 %	▲ 31.1 %
	失業対策事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	- %	- %
その他の経費	5,796,001	34.4%	5,879,974	35.5%	▲ 83,973	▲ 1.4 %	1.5 %	
うち物件費	1,888,416	11.2%	1,696,241	10.3%	192,175	11.3 %	0.3 %	
うち補助費等	1,786,223	10.6%	2,085,382	12.6%	▲ 299,159	▲ 14.3 %	▲ 14.3 %	
歳出合計	16,828,682	100.0%	16,540,339	99.9%	288,343	1.7 %	1.7 %	



＊各性質別の用語説明＊

○義務的経費

歳出経費のうち、その支出が義務付けられ、任意に削減できない経費。人件費、扶助費、公債費が該当します。

- ◆人件費・・・職員の給料や退職手当、議員の報酬など
- ◆扶助費・・・児童や高齢者福祉、生活保護など社会福祉に要する経費
- ◆公債費・・・地方債（借金）の元利返済金

○投資的経費

道路、公園、学校の建設など社会資本整備に要する経費。普通建設事業費、災害復旧事業費、失業対策事業費が該当します。

- ◆普通建設事業費・・・道路や公園、学校の建設改良経費など建設事業のための経費
- ◆災害復旧事業費・・・災害被害の復旧に要する経費

○その他の経費

上記以外に「積立金」・「貸付金」・「投資及び出資金」・「繰出金（他会計へ支出する経費など）」・「前年度繰上充用金（前年度会計で歳入が不足する場合に次年度の歳入を繰り上げて不足額に充てるために要した経費）」があります。

- ◆物件費・・・旅費や臨時職員等の賃金、交際費、需用費、役務費、備品購入費、委託料など
- ◆補助費等・・・一部事務組合等への負担金やさまざまな団体等への補助金、報償費、賠償金、寄付金など

3) 歳入歳出差引

「歳入－歳出」の額です。平成30年度決算では約5億662万円の黒字です。

4) 翌年度繰越財源

平成30年度中に完了ができなかったため令和元年度へ繰り越した事業のための財源のことで、その額は約6,296万円です。令和元年度へ繰り越した事業は、まち・ひと・しごと総合交流館施設改修事業など計36本となりました。

5) 実質収支

「歳入歳出差引額」から「翌年度繰越財源」を差し引いた額です。平成30年度決算は、約4億4,366万円の黒字となりました。前年度より約1億3,702万円の増となっています。

《決算収支の状況》

(単位:千円)

区分		形式収支	実質収支	単年度収支	実質単年度収支
決算額	平成30年度(A)	506,624	443,664	137,023	37,064
	平成29年度(B)	346,667	306,641	▲ 178,675	▲ 328,553
	平成28年度	555,048	485,316	4,725	▲ 195,067
増減額(A－B)		159,957	137,023	315,698	365,617

3 市民1人あたりに置き換えて

歳入歳出決算を人吉市民1人当たりの額に換算してみました。また、10年・20年前と比べて決算内訳がどのように変化しているかについても掲載しています。

1) 市民1人当たりの決算額

歳入歳出決算額を人吉市の人口（平成31年3月31日現在32,309人）で割り、市民一人当たりの額を算出しますと次のとおりとなります。

（単位：円）

歳入の状況	市民一人当たりの額
人吉市の税収（地方税）	114,073
国、県から入るもの（交付税・国県支出金・各種交付金）	307,232
施設の使用料など （使用料・手数料・財産収入・分担金及び負担金）	13,622
借入金（地方債）	54,680
その他（寄付金・繰入金・繰越金・諸収入）	46,940
合 計	536,547

（単位：円）

歳出（目的別）の状況	市民一人当たりの額
総務・税務徴税・議会など（議会費・総務課）	82,368
高齢者・子ども・障がい者など（民生費）	206,763
健康など（保健衛生費）	13,719
ごみ処理など（衛生費・清掃費）	21,876
農業費・商工観光費（農林水産費・商工費）	26,997
道路河川・公園・住宅（土木費）	68,224
消防・防災など（消防費）	17,833
教育・文化・スポーツなど（教育費）	35,266
借入金の返済（公債費）	44,746
その他（労働費・災害復旧費・諸支出金）	3,075
合 計	520,867

1人当たりの歳入額は536,547円、歳出額は520,867円となりました。

歳出を見ると、福祉関係に使われる額が約20万7千円と突出しているのがわかります。昨年度が約20万5千円で、前年度と比較し約2千円も伸びています。これは、認定こども園による保育所運営費等負担金が増額したことや自立支援給付費などの障害者関係経費が増額したことが一因となっています。

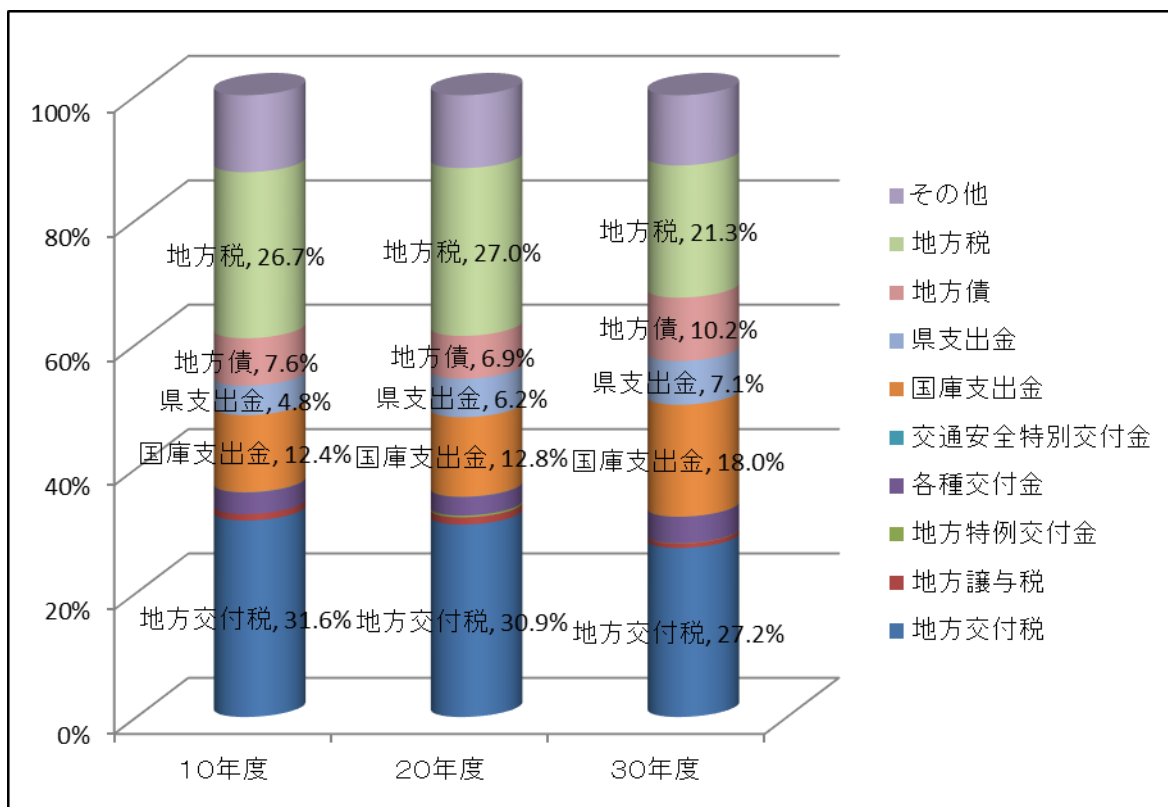
一方、歳入を見ると、市民が市税として納税する額が約11万4千円、国県から交付される額が約30万7千円となっており、多くを国や県からのお金に頼りながら運営をしていることがわかります。

2) 決算構成の変化 ～20年前の決算と比較する～

ここでは、過去と現在の決算構成を比較しています。20年前と比べると歳入歳出構成はどのように変化しているのでしょうか。

〈歳入構成の推移〉

平成30年度の歳入合計は20年前と比較して約25億613万円の増となっております。歳入の構成比は概ね変化はありませんが、地方税収は約5億8,740万円の減になっており、地方交付税、国・県支出金、各種交付金などの依存財源が大きな割合を占めています。



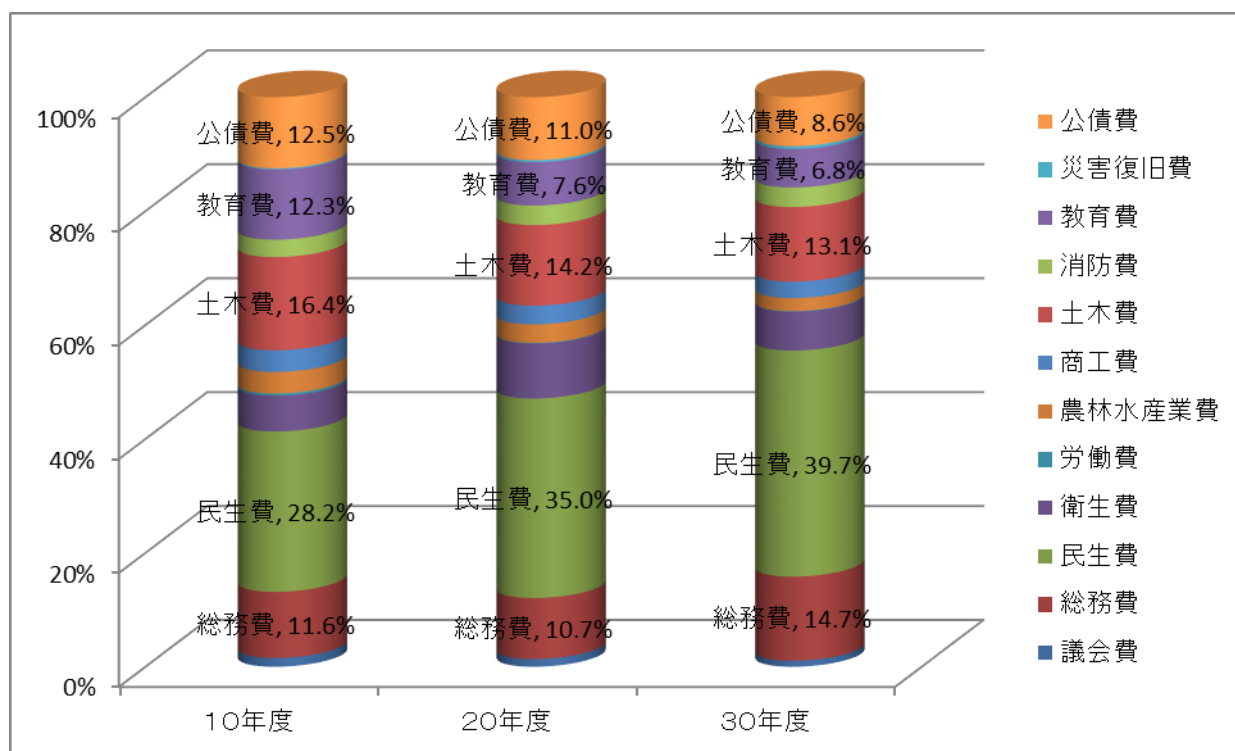
(単位：千円)

	10年度	20年度	30年度
地方交付税	5,054,372	4,589,358	4,711,864
地方譲与税	168,844	172,151	125,949
地方特例交付金	0	42,968	8,281
各種交付金	554,640	443,621	735,895
交通安全特別交付金	7,492	5,601	3,446
国庫支出金	1,978,247	1,895,647	3,118,402
県支出金	762,917	917,016	1,222,531
地方債	1,218,400	1,022,600	1,766,668
地方税	4,272,984	4,001,507	3,685,589
その他	1,980,461	1,738,707	1,956,681
合計	15,998,357	14,829,176	17,335,306

* 着色 の部分が自主財源となります。

〈歳出構成の推移〉

歳出の目的別構成比は、民生費の割合が増え、土木費が減少しています。社会情勢の変化等により、社会福祉への需要が高くなったことによるものです。それに対し土木費は20年前に比べ大幅に減少していますが、今後は老朽化した施設などの修繕のための支出が増えていくことが考えられます。



(単位：千円)

	10年度	20年度	30年度
議会費	235,372	195,012	179,088
総務費	1,765,401	1,534,748	2,482,130
民生費	4,283,749	5,020,848	6,680,316
衛生費	954,840	1,383,134	1,150,032
労働費	58,859	16,344	15,850
農林水産業費	576,859	466,213	384,243
商工費	577,647	469,340	487,996
土木費	2,491,534	2,028,690	2,204,262
消防費	462,787	490,330	576,154
教育費	1,875,582	1,089,156	1,139,420
災害復旧費	30,754	54,848	83,488
公債費	1,899,826	1,583,514	1,445,703
諸支出金	1,877	0	0
合計	15,215,087	14,332,177	16,828,682

4 目的税の用途状況

目的税とは、その用途を特定した上で徴収する税のことです。人吉市の場合は、都市計画税及び入湯税がこれに該当します。

1) 都市計画税の用途状況

都市計画税は、都市計画事業や土地区画整理事業に要する費用に充てることを目的としています。平成30年度は、下水道事業、公園整備事業、街路整備事業などの都市計画事業などに充てるとともに、これらのために借り入れた地方債の償還（返済）に充てられています。平成30年度は事業費の約32.1%を都市計画税収で賄っています。

平成30年度 都市計画税の用途及び財源内訳 (単位：千円)

事業名	事業費	財源内訳			
		都市計画税	国県支出金	その他	一般財源
街路	77,563	12,603	29,636	18,184	17,140
公園	57,660	2,925	23,938	26,819	3,978
下水道	100,129	42,428	0	0	57,701
区画整理	3,642	1,120	1,000	0	1,522
公債費	279,930	118,615	0	0	161,315
計	518,924	177,691	54,574	45,003	241,656

【主な事業】

- ・都市計画道路下林願成寺線改良事業、市内各公園施設設備改築事業 など

2) 入湯税の用途状況

入湯税は、環境衛生施設、鉱泉源の保護管理施設及び消防施設その他消防活動に必要な施設の整備並びに観光の振興（観光施設の整備を含む。）に要する費用に充てることを目的としています。平成年度は消防施設の整備、観光振興に要する費用に充てています。

平成30年度 入湯税の用途及び財源内訳 (単位：千円)

用途	事業費	財源内訳		
		入湯税	その他	一般財源
消防施設等の整備	30,654	2,547	24,571	3,536
観光振興	73,212	17,092	32,400	23,720
計	103,866	19,639	56,971	27,256

【主な事業】

- ・消防団積載車購入、消火栓新設・修繕、マンホールトイレ整備
- ・観光パンフレット・広告料、お城まつり等補助金 ほか

5 地方消費税引き上げ分の使途状況

平成26年4月1日から消費税率（国・地方）が5%から8%に引き上げられました。これは、今後も増加が見込まれる社会保障経費の財源確保のためとされており、その増収分については社会保障施策に要する経費（事務費や人件費等を除く）に充てることとなっています。

平成30年度決算における使途状況は次のとおりとなっています。

地方消費税引き上げ分の使途状況

（単位：千円）

事業区分	事業費	国県支出金	その他	一般財源	うち地方消費税 交付金（社会保 障財源化分）
社会福祉 計	4,922,969	2,865,419	135,283	1,922,267	148,182
障がい者福祉	1,044,759	724,540	17,636	302,583	23,325
高齢者福祉	175,416	2,581	18,310	154,525	11,912
児童福祉	2,468,094	1,534,640	87,275	846,179	65,230
母子福祉	241,048	81,798	0	159,250	12,276
生活保護扶助	661,016	509,332	10,970	140,714	10,847
その他	332,636	12,528	1,092	319,016	24,592
社会保険 計	962,716	180,589	0	782,127	60,292
国民健康保険	251,553	119,442	0	132,111	10,184
介護保険	711,163	61,147	0	650,016	50,108
保健衛生 計	856,635	110,970	2,052	743,613	57,323
感染症予防	90,137	54	290	89,793	6,922
高齢者医療	651,785	105,289	0	546,496	42,128
成人保健	68,053	2,452	0	65,601	5,057
母子保健	35,737	3,175	1,762	30,800	2,374
医療施策	10,923	0	0	10,923	842
総 計	6,742,320	3,156,978	137,335	3,448,007	265,797

* 各事業の一般財源の割合に応じて充当しています。